

社会資本総合整備計画 事後評価書 (H24-P5)

平成 28 年 3 月 31 日

計画の名称	5		安心・安全な道路交通を確保する道路修繕													
計画の期間	平成24年度 ～ 平成27年度（4年間）															
計画の目標																
幹線道路において、道路利用者の安心・安全な通行を確保するため、道路の損傷度が高い区間において道路修繕を実施する。																
計画の成果目標（定量的指標）																
・ 幹線道路における道路の損傷度が高い区間を整備する。																
定量的指標の定義及び算定式																
・ 主要な幹線道路における舗装の損傷度が高い区間の舗装修繕率 （主要な幹線道路における舗装の損傷度が高い区間の舗装修繕率）＝（舗装修繕済道路走行延長）／（対象路線道路走行方向延長） （対象路線道路走行方向延長）＝H24当初MCI＜5またはわだち掘れ量≥3の主要な幹線道路走行方向延長 ・ その他幹線道路における舗装の損傷度が高い区間の舗装修繕率 （その他幹線道路における舗装の損傷度が高い区間の舗装修繕率）＝（舗装修繕済道路走行延長）／（対象路線道路走行方向延長） （対象路線道路走行方向延長）＝H24当初MCI＜4のその他幹線道路走行方向延長					定量的指標の現況値及び目標値			備考								
					当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)									
					－	－	20 %									
－	－	5 %														
全体事業費	合計 (A＋B＋C)	362 百万円	A	212 百万円	B	0 百万円	C	150 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A＋B＋C)	41.4%						
事後評価（中間評価）																
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																
事後評価（中間評価）の実施体制						事後評価の実施時期		平成２７年度末								
京都市で評価を実施。						公表の方法		京都市ホームページにより公表								
1. 交付対象事業の進捗状況																
交付対象事業																
A1 道路事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
											H24	H25	H26	H27		
5-A-1	道路	一般	京都市	直接		京都市		（主）京都環状線（北大路工区他）	舗装修繕 L=5.77km	京都市						102
5-A-2	道路	一般	京都市	直接		京都市		（国）4 7 7 号（花背工区他）	舗装修繕 L=3.50km	京都市						61
5-A-3	道路	一般	京都市	直接		京都市		（一）七条大宮四ツ塚線（東寺工区他）	舗装修繕 L=0.59km	京都市						17
5-A-4	道路	一般	京都市	直接		京都市		（主）西陣杉坂線（千本工区他）	舗装修繕 L=0.89km	京都市						32
5-A-5	街路	一般	京都市	直接		京都市		（市）大宮通（五条工区他）	舗装修繕 L=0.96km	京都市						0
5-A-6	道路	一般	京都市	直接		京都市		（国）3 6 7 号（大原工区他）	舗装修繕 L=6.42km	京都市						0
5-A-7	道路	一般	京都市	直接		京都市		（主）南インター竹田線（竹田工区他）	舗装修繕 L=0.37km	京都市						0
5-A-8	道路	一般	京都市	直接		京都市		（主）鹿ヶ谷嵐山線（聖護院工区他）	舗装修繕 L=2.44km	京都市						0
5-A-9	道路	一般	京都市	直接		京都市		（国）1 6 2 号	舗装修繕 L=9.53km	京都市						0
5-A-10	道路	一般	京都市	直接		京都市		（主）京都広河原美山線他27路線	舗装修繕 L=14.70km	京都市						0
5-A-11	道路	一般	京都市	直接		京都市		（市）外環状線他31路線	舗装修繕 L=18.43km	京都市						0

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H24	H25	H26	H27				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H24	H25	H26	H27				
5-C-1	道路	一般	京都市	直接		京都市	舗装修繕（路面性状調査）	舗装修繕（路面性状調査）	京都市						27		
5-C-2	道路	一般	京都市	直接		京都市	トンネル点検・計画策定	トンネル点検・計画策定	京都市						24		
5-C-3	道路	一般	京都市	直接		京都市	道路照明灯点検・計画策定	道路照明灯点検・計画策定	京都市						99		
合計														150			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
5-C-1	これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、効率的な修繕を図る。																
5-C-2	これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、効率的な修繕を図る。																
5-C-3	これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、効率的な修繕を図る。																
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																	
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況						・（主）京都環状線（北大路通），一般国道477号の舗装修繕を行った結果，安心・安全な通行を確保することができた。											
II 定量的指標の達成状況				指標①（主要な幹線道路における舗装の損傷度が高い区間の舗装修繕率）		最終目標値	20%	目標値と実績値に差が出た要因	・ 厳しい財政状況のなか，限られた財源で事業を実施したため。								
						最終実績値	9%										
				指標②（その他幹線道路における舗装の損傷度が高い区間の舗装修繕率）		最終目標値	5%	目標値と実績値に差が出た要因									
						最終実績値	2.4%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）																	
3. 特記事項（今後の方針等）																	
限られた財源を有効に活用し，今後も継続して事業を実施していく。																	

